

梅宮麟淵 うめみや りんげん 哲學者。安政四年十一月上佐國生れ、明治二十四年

四月九日自裁（八五七一九一）。本名孝季、幼名助五郎・哲五郎。別號無

筆庵。明治十二年東京大學卒。翌年東京師範學校教授、十九年イギリス大

學留學、歸國後『東洋學士藝雜誌』、新聞『日本』創刊に盡力。その文

章、書翰等多く筆文を以てし、また好劇家としても知られた。 増補

『梅宮言行録』（明治二十八年七月二十一日陸實編刊）がある。